

メンバー：矢崎 雄也（医学類5年）、井川 敬太（医学類5年）他 医薬保健学域の学生
 担当教員：医薬保健研究域 医学系 細胞分子機能学 教授 安藤 仁

被災地に笑顔と学びを届ける医療交流プロジェクト

医学展 in 能登とは？

医学展は医療と、若者と、地域の皆様とを繋ぐ交流の中心として、医療をより身近に感じてもらうプロジェクトです。医学展 in 能登を通して地域が活気を取り戻し、復興の一助となることを目指します。

私たちの取り組み



医学展in珠洲@珠洲こども交流館

「親子の活動・交流の拠点づくり」と連携し、多世代が医療に触れる場を創出。血圧測定、聴診器体験などを通じ、健診への心理的ハードルの低減を試みた医療体験コーナー、縁日コーナーなどを実施。

医学展in七尾@恵寿総合病院

「恵寿フェス」とコラボレーションし、より専門的な体験型展示を実施。救急救命士体験では救急車探検やAED・BLS（一次救命処置）の基本講習を実施。看護・介護体験ではケア技術「ユマニチュード」の紹介や認知症VR体験、血糖測定を実施。



活動のまとめ

本プロジェクトは、①被災後の生活の変化や社会的孤立に対し交流と娯楽の場を提供した、②医学生による地域医療支援の一環を実現した、という点で意義があるといえます。また、将来的な定着を目指し、現地病院が主催する「病院フェス」等の地域イベントに合流・共催する形を取り、学生側のマンパワーやコストを抑えながら、意義ある活動を目指しました。今回の活動を通じ、能登の皆様の強さと温かさに触れ、私たち学生も多くの学びを得ることができました。一過性のイベントで終わらせることなく、今後も医療の力で復興に寄り添い続けます。今回のこのプロジェクトにご協力いただいた先生方や能登里山里海未来創造センターの方々、そして何よりも医学展in能登を開催するにあたり場所の提供や広報活動をサポートしてくださった能登の方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

医学展とは？

医療と、若者と、地域の皆様とを繋ぐ交流の中心として、医療をより身近に感じてもらうプロジェクトです。医学展 in 能登を通して、地域が活気を取り戻し、復興の一助となることを目指します。

能登の子供たちに「楽しさ」と「学び」を

AED・BLS体験やからだの仕組み体験ブースなどの体験を通して、身体の不思議や医療の面白さを感じてもらいます。

被災地で頑張る受験生の不安や悩みを寄り添う

受験生応援ブースでは受験生と医学生が1対1の対面形式で受験相談や進路相談をします。

未来の医療人材育成へ

被災地で活動する中で、医学生が能登地域の現状と魅力に触れることで将来的にこの地の医療を支える人材育成にもつながります。

企画内容

- ▶ 能登応援ブース
- ▶ からだの仕組み体験
- ▶ 救急救命士体験
- ▶ 受験生応援ブース
- ▶ 縁日
- ▶ 看護体験

開催予定地

- ▶ 珠洲市
- ▶ 七尾市 (恵寿総合病院)